

MWE 2026 出展のお知らせ

SIGLENT RF・マイクロ波測定ソリューション

2026年11月25日（水）～27日（金）｜パシフィコ横浜 展示ホールD｜ブース B-12

MWE 2026 開催概要

11.25 水

11.27 金

会場

パシフィコ横浜
展示ホールD

時間　10:00〜17:00
ブース　B-12
担当　T&Mコーポレーション

展示ソリューション

01　Wi-Fi 7を想定した広帯域変調解析

02　920 MHz帯IoT信号の変調解析

03　差動伝送路のTDR測定

04　フィルタ・方向性結合器のSパラメータ測定

05　アンテナ・ケーブルのDTF測定

06　LNAのノイズフィギュア／ゲイン測定

07　電波環境モニタリング

Wi-Fi 7を想定した広帯域変調解析

320 MHz帯域の広帯域信号を、発生から解析まで一連の構成で紹介

12ビット・4 GHzオシロスコープ SDS7404Aと、最大8 GHzのベクトル信号発生器 SSG6082A-Vを組み合わせ、SigVSAで変調信号を可視化します。



SDS7404A　T&M製品ページ

展示ポイント

・Wi-Fi 7の320 MHz帯域を想定
・広帯域IQ信号の観測と変調解析
・研究開発向けの実機構成



SSG6082A-V　T&M製品ページ

製品画像・詳細：T&Mコーポレーション

920 MHz帯IoT信号の変調解析



SHA852A　T&M製品ページ



SSG5060X-V　T&M製品ページ

サブGHz帯の無線信号を実機で確認

SSG5060X-Vで920 MHz帯のFSK変調信号を生成し、ハンドヘルド・シグナル・アナライザ SHA852Aで解析します。

確認できる内容

・FSK変調信号のスペクトラム
・アイパターン表示
・IoT機器やサブGHz無線の評価

製品画像・詳細：T&Mコーポレーション

VNAによる伝送路・RF部品評価

差動伝送路のTDR測定



SNA6034AとRFテストボードを使用し、差動ラインのインピーダンス変化や不連続点を時間領域で確認します。

SNA6034A　T&M製品ページ

フィルタ・方向性結合器の測定



SNA5032Aを使用し、RFフィルタと方向性結合器のSパラメータを測定します。挿入損失や反射特性を実機で確認できます。

SNA5032A　T&M製品ページ

製品画像・詳細：T&Mコーポレーション

アンテナ・ケーブルのDTF測定

フィールドで障害位置と接続状態を確認

ハンドヘルドVNA SHN926Aを使用し、アンテナと同軸ケーブルの特性を測定します。DTF（Distance to Fault）機能により、ケーブル内の障害位置を距離で確認できます。



想定用途

・基地局やアンテナ設備の保守
・同軸ケーブルの障害位置確認
・現場でのSパラメータ測定

SHN926A　T&M製品ページ

製品画像・詳細：T&Mコーポレーション

LNAのノイズフィギュア／ゲイン測定



SSA5083A　T&M製品ページ

RFフロントエンドの性能を定量評価

スペクトラム・アナライザ SSA5083Aとノイズソース NSD28を使用し、LNAのノイズフィギュアとゲインを測定します。

展示構成

SSA5083A
NSD28 ノイズソース
LNA／K346A

製品画像・詳細：T&Mコーポレーション

時間変動する電波を継続的に観測

リアルタイム・スペクトラム・アナライザ
SSA3075X-RとPCを組み合わせ、周囲の周波数利用状況をモニタリングします。



確認できる内容

・周波数利用状況の可視化
・断続的な干渉波の検出
・時間変動する信号の追跡

SSA3075X-R　T&M製品ページ

製品画像・詳細：T&Mコーポレーション

SIGLENTブース B-12へ
ぜひお越しください

MWE 2026｜マイクロウェーブ展2026

2026年11月25日（水）～27日（金）
10:00～17:00
パシフィコ横浜 展示ホールD

T&Mコーポレーション公式サイト

MWE 2026 公式サイト

実機デモのご相談、製品選定、価格・納期について、会場でお気軽にお声がけください。

お問い合わせ　info@tm-co.co.jp　／　0120-620-115